

FM/AM **カセットカーステレオ**

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を
防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示していま
す。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお
読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあ
とは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XR-C1200



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・運転者は走行中に操作をしない。
- ・車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」の製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

準備

△警告	4
△注意	5

ここだけ
読みます

本機だけでできる操作

▶ 準備

まず、本機をリセットする	6
時計を合わせる	7
放送局を自動で登録する	8

ラジオ

▶ ここだけ読みでも使えます

テープを聞く	9
ラジオを聞く	12

その他の操作

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する	14
放送局に名前をつける	15

CD/MD

▶ 他の操作

ロータリーコマンダー(別売り)の操作	17
音質や音のバランスを調節する	19
重低音を強調する	20

付録

付録

使用上のご注意	27
各部のなまえ	29
故障かな？	30
保証書とアフターサービス	33
主な仕様	34
索引	35



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

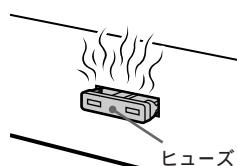


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に
損害を与えることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはまれ、けがの原因となることがあります。



はじめに

本機では、カセットテープとラジオを聞くことができます。また、別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。組み合わせる機器の例として以下のものがあります。

- CD / MD機器

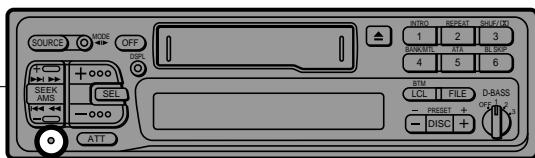
- CDチェンジャー、CDプレーヤー
MDチェンジャー、MDプレーヤー

- ロータリーコマンダー

- お手元で簡単に操作することができます。

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD / MD機器を接続した場合の操作方法についても説明しています(21ページ～)。

まず、本機をリセットする

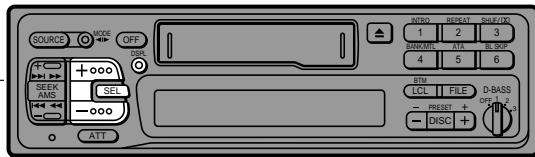


初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。

時計を合わせる



1 車のキーをONにする。

DSPL



2 DSPLボタンを時計表示が点滅するまで押す。

① + / - ボタンを押して、「時」を合わせる。

(時計は12時間表示)

② 「時を」合わせたら、SELボタンを押す。

SEL

③ + / - ボタンを押して、「分」を合わせる。

DSPL

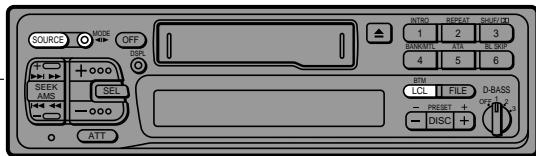


3 DSPLボタンを押す。

ご注意

本機底面のPOWER SELECTスイッチを❸にしている場合は、本機の電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、SOURCEボタンを押してラジオを動作させます。

放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1~6ボタンに自動的に登録(プリセット)します。
FM1またはFM2、AM1、AM2のバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。
テレビ放送(1~3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。

 **1** SOURCEボタンを押して、ラジオに切り換える。

 **2** MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

 **3** LCL/BTMボタンを2秒以上押す。

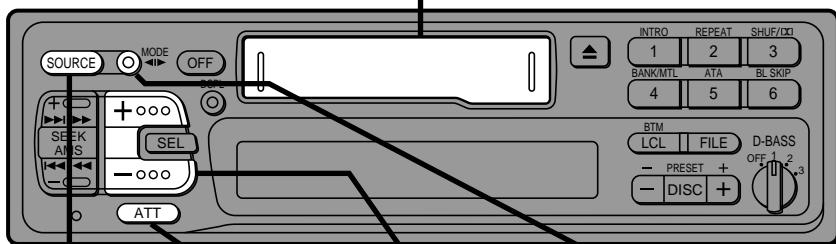
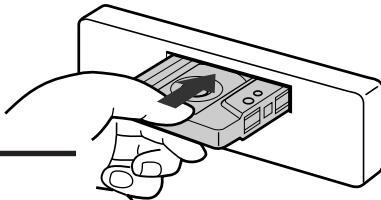
「MEM」と表示が点滅し、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンにプリセットされます。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、プリセットされないことがあります。
- 表示窓にプリセット番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局がプリセットされます。

テープを聞く

テープを入れると再生が始まります



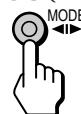
テープが入っているときに押して
「PLAY」を表示すると再生が始まる
(ソース SOURCEボタン)



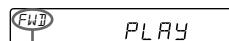
音量を調節する*

音を瞬時に下げる
(ATTボタン)
もう1度押すとともに
音量に戻ります。

テープの面を切り換
える(MODEボタン)



再生中に押すと、テープ
の面が切りわります。



上面を再生

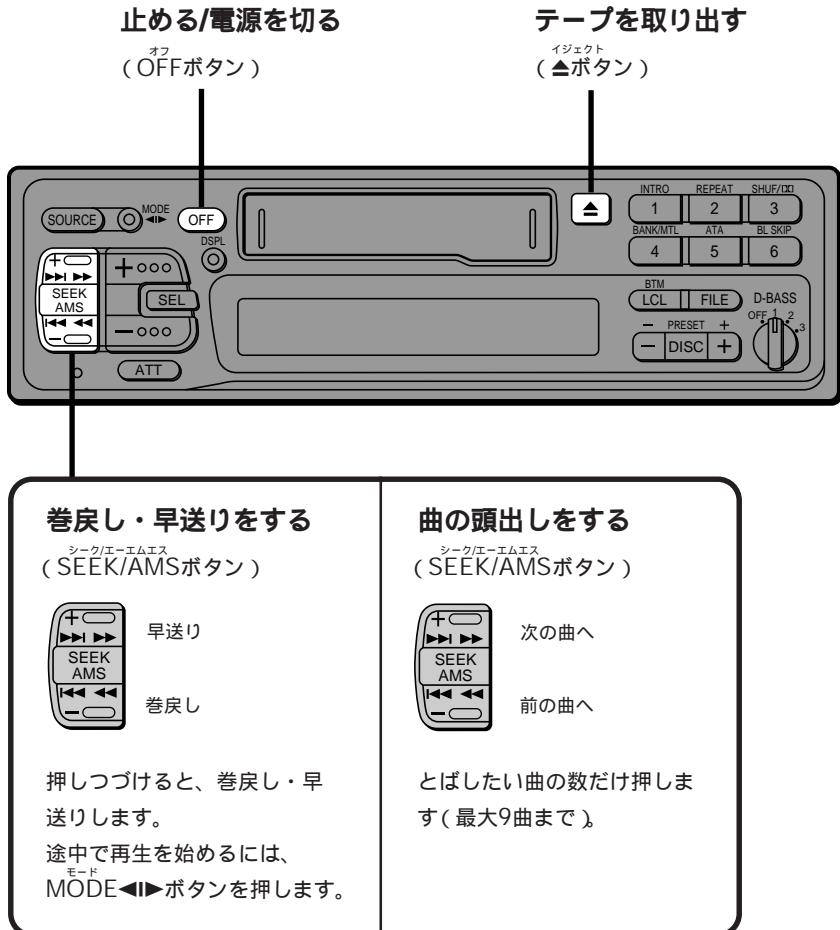


下面を再生

* 本機はナビゲーションの案内音声があるときに音楽の音量
を自動的に下げます(ATTまたはミュート出力コードの付
いたカーナビゲーションシステムを接続した場合)。音量
を上げると解除されます。

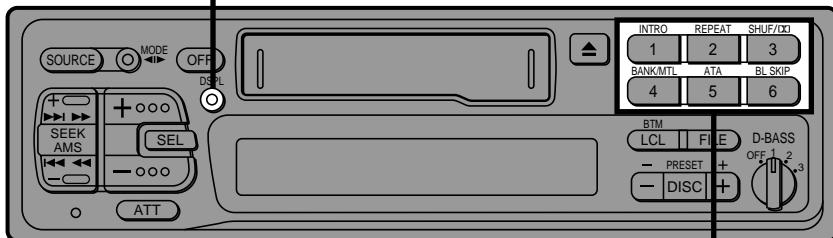
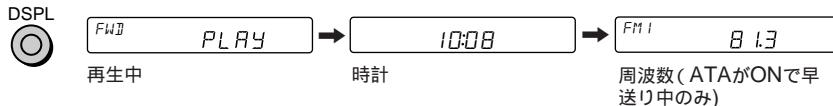
次のページへつづく

テープを聞く(つづき)



表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り替えます。



数字ボタンを押すと

- | | |
|---------------|---|
| INTRO
1 | INTRO
イントロ
もう1度押すとそこからふつうの再生に戻ります。 |
| REPEAT
2 | REP
リピート
もう1度押すと、ふつうの再生に戻ります。 |
| SHUF/DO
3 | DOLBY * B NR ドルビー * B NR で録音したテープを再生する (DOLBYボタン)
もう1度押すと、解除します。 |
| BANK/MTL
4 | MTL
MTLボタン
もう1度押すと、解除します。 |
| ATA
5 | ATA
エーティーエー
もう1度押すと、解除します。 |
| BL SKIP
6 | BL SKIP
ブランクスキップ
もう1度押すと、解除します。 |

* ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号□□はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

ラジオを聞く

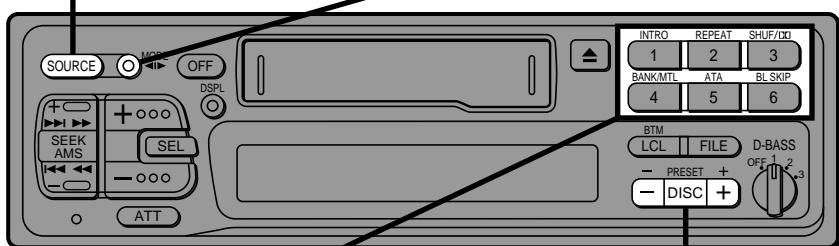
1 ラジオに切り換える



2 聞きたいバンドに切り換える



押すたびにFM1 → FM2
→ AM1 → AM2と切り
換わります。



3 聞きたい放送局の ボタンを押す(放 送局を登録してあ るとき)



登録(プリセット)のしかた
については、8ページ参照。

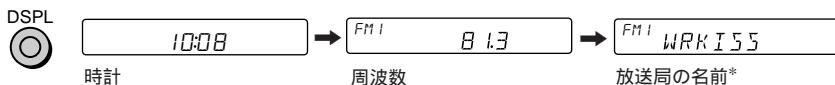
登録した局を順に受信する

プリセット ディスク
(PRESET/DISCボタン)

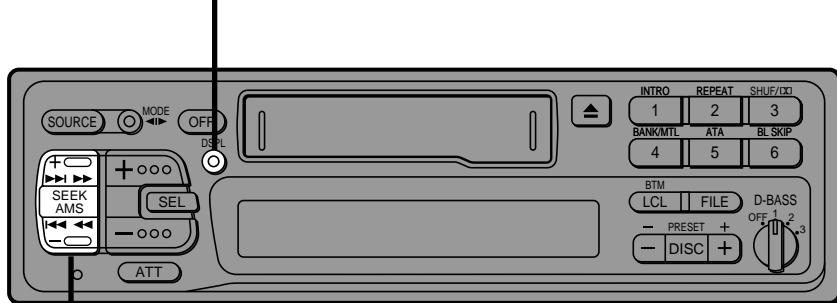


表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り替えます。



*名前を登録していないときは、「NO NAME」と表示され、周波数表示に換わります。



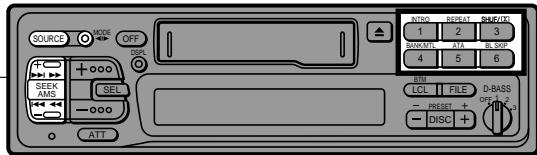
旅先などで、登録した局が受からないとき（自動選局を使う）

SEEK/AMSボタンを軽く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局がかかるまで、ボタンを繰り返し押します。



- ・聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押しつづけます。
- ・自動選局がたびたび止まってしまうときは、LCLボタンを押して「LCL」表示に切り替えます。比較的電波の強い局だけを受信します。

特定の放送局を登録する



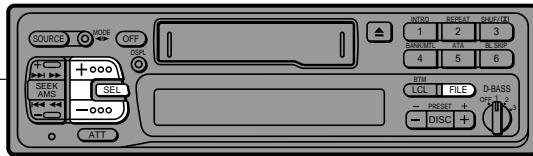
放送局を自動で登録(8ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておくと便利です。

- 1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。
 - 2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。
 - 3 SEEK/AMSボタンを押して登録する放送局を受信する。
 - 4 登録したい数字ボタンを2秒以上押す。
- 押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。
-

ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

放送局に名前をつける

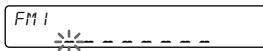


放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示できます。放送局には、8文字までの名前をつけることができます。

ラジオ

1 名前をつけたい放送局を受信する。

FILE **2** FILEボタンを2秒以上押す。



3 文字を入力する。

① +ボタンを押して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→.→_



-ボタンを押すと、逆順に表示されます。

文字の間をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。



② 文字が見つかったら、SELボタンを押す。

次の文字を入力できるようになります。



③ 手順**①**と**②**を繰り返し、名前を入力する。

8文字まで入力できます。

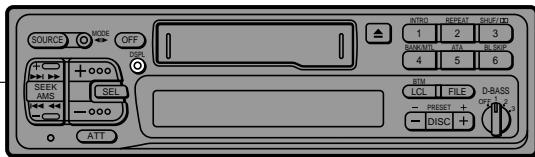
8文字目(1番右側)の文字が点滅しているときSELボタンを押すと、点滅が一番左側に移ります。



4 最後に、FILEボタンを2秒以上押す。

次のページへつづく

放送局に名前をつける(つづき)



名前を表示するには



DSPLボタンを押して名前表示に切り換える。

名前を登録していない場合は、「NO NAME」と表示されます。

名前を消去するには

1 FILEボタンを2秒以上押す。

2 SELボタンを押しながら数字ボタン5を押す。

3 +または-ボタンを押して消したい名前を表示させる。

4 SELボタンを2秒以上押す。

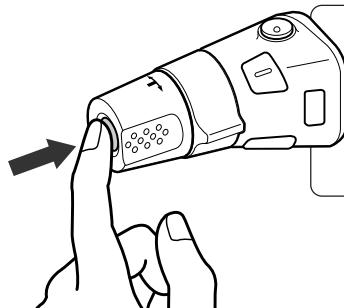
他に消したい名前があるときは、手順3、4を繰り返す。

5 FILEボタンを2秒以上押す。

ロータリーコマンダー(別売り)の操作

CD/MD機器は、機器をつないでいるときだけ操作できます。

押すと (SOURCEボタン)

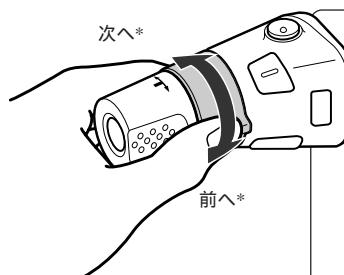


SOURCEボタンを押すと

ソースがFMまたはAM CD MD テープ と切り換わる

SOURCEボタンを押すと本体の電源が入ります。

回すと (SEEK/エーエムエス つまみ)



テープ 短く回して離すと曲の頭出しをする

回しつづけると早く送られ、途中で再生に戻すにはMODEボタンを押す

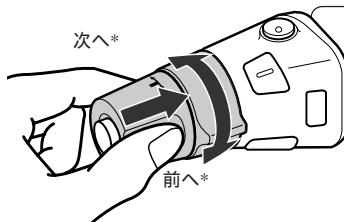
ラジオ 短く回して離すと自動的に局を受信する

回しつづけると特定の周波数に合わせられる

CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする

回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る

押しながら回すと (PRESET/ディスク つまみ)



ラジオ プリセットした局を順に受信する

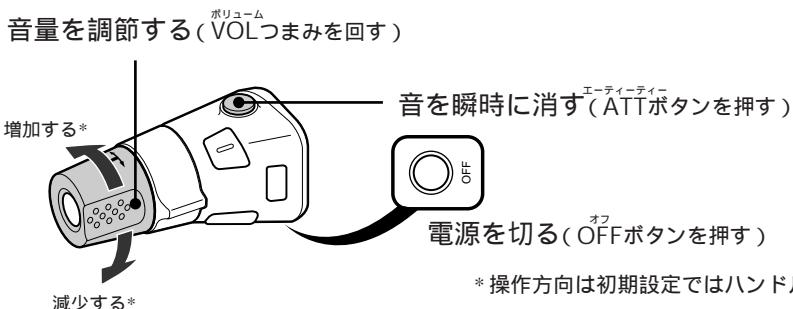
CD/MD... チェンジャー内のディスクを切り換える

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

次のページへつづく

ロータリーコマンダーの操作(つづき)

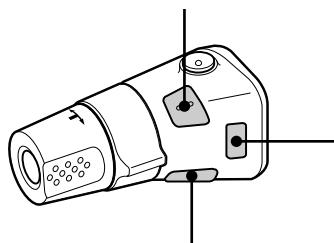
その他の操作



音量調節・音質選択する。

(SELボタンを押す)
セレクト

本機のSELボタンと同じ働きをします。
セレクト



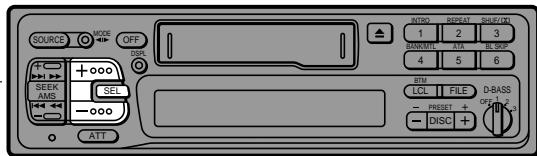
放送局やCD、MDに名前をつける。 (FILEボタンを押す)
ファイル

本機のFILEボタンと同じ働きをします。
ファイル

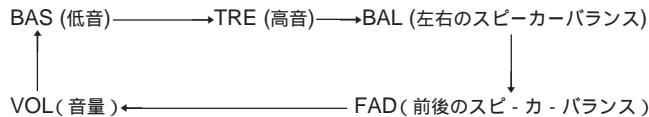
つまみの操作方向を切り換える



音質や音のバランスを調節する

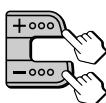


1 SELボタンを押して調節したい項目に切り換える。



2 + / - ボタンを押して調節する。

3秒以内に + / - ボタンを押してください。3秒を過ぎると音量調節 (VOL) に戻ります。



BAS 強まる ↑ 弱まる ↓	TRE 強まる ↑ 弱まる ↓	BAL 左が下がる ↑ 右が下がる ↓	FAD 前が下がる ↑ 後ろが下がる ↓	VOL 上がる ↑ 下がる ↓
-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	----------------------------------	-----------------------------

ボタンを押したときの「ピッ」音を入・切する

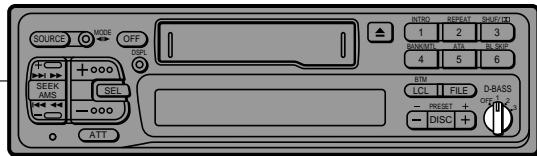
SELボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

押すたびに切り換わります。

ご注意

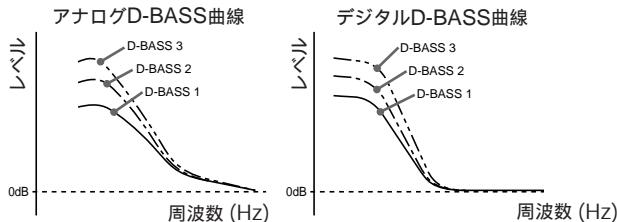
「ピッ」という音は内蔵アンプを使用した接続をしないと鳴りません。

重低音を強調する



D-BASS

D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域をシャープに増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。通常のテープ再生時やラジオ受信時はアナログD-BASSで再生され、デジタルD-BASS対応のCDチェンジャーのCD再生時はデジタルD-BASSで再生されます。



D-BASSつまみで低音を調節する



1 ~ 3 に合わせます。数字が大きいほど低音が強調されます。

ディスプレイでの表示

「D-BASS」 → テープ再生時またはラジオ受信時

「DIGITAL D-BASS」 → デジタルD-BASS対応チェンジャーCD再生時
通常に戻すときは、D-BASSつまみを「OFF」に合わせてください。

ご注意

D-BASSを使うと、音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASSつまみや音量を聞きやすいように調整してください。

CD/MD

別売りのCD/MD機器をつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、CD/MD機器固有の機能について説明します。

CD/MDを聞く



MODE

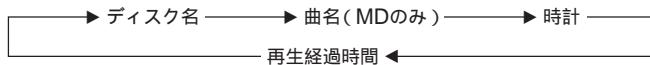
CD/MD機器を2台以上つないでいる場合、再生中にMODEボタンを繰り返し押して、聞きたい機器に切り換える。

CD1→CD2

全てのディスクを順に再生します。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り替えます。



ご注意

- ・「NO NAME」: CD、MDに名前または曲名をつけていない。
- ・MDのカタカナ表示は対応していません。

ディスク名や曲名が9文字以上記録されている場合は、最初の8文字が表示されます。

その他の操作

CD/MD

聞きたい曲・ディスクを探す

探し方	押すボタン
曲の頭出しをする	再生中にSEEK/AMSボタン
	 先の曲へ 前の曲へ
	押した回数だけ前または先の曲の頭出しをします。
曲の聞きたいところを探す	再生中にSEEK/AMSボタン
	 ボタンを押しつづけ、聞きたいところで離します。
各曲を頭を10秒ずつ再生しながら探す	再生中に数字ボタン1 (INTRO)
	 「INTRO」と表示されます。聞きたい曲がかかったら、もう1度押して再生に戻します。
ディスクの頭出しをする	再生中にPRESET/DISCボタン
	 押した回数だけ前または先のディスクの頭出しをします。

リピート

繰り返し聞く

REPEAT

2

再生中にREPEATボタンを短く押して表示を切り換える、繰り返しかたを選ぶ。

REP1

再生中の曲を繰り返す。

REP 2

再生中のディスクを繰り返す。

REP 3

チャンジャーまたはプレーヤーを2台つないでいる場合は、再生中のチェンジャーまたはプレーヤーの全ディスクを繰り返す。

曲順を変えて聞く

シャッフル

SHUF/□

3

再生中にSHUFボタンを短く押して表示を切り換える、曲順の変えかたを選ぶ。

SHUF1

再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

SHUF 2

再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

SHUF 3

チャンジャーまたはプレーヤーを2台つないでいる場合は、つないでいる全てのチェンジャーまたはプレーヤーの全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

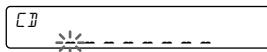
CDに名前をつける

カスタムファイル対応のCD機器の場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はCD機器本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。

FILE

1 CDを再生し、FILEボタンを2秒以上押す。



2 文字を入力する。



① +ボタンを押して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→→
→.→_



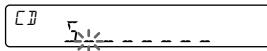
-ボタンを押すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。

SEL

② 文字が見つかったら、SELボタンを押す。

次の文字を入力できるようになります。



③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

8文字まで入力できます。

8文字目(1番右側)の文字が点滅しているときSELボタンを押すと、点滅が一番左側に移ります。

FILE

3 最後に、FILEボタンを2秒以上押す。

CDに名前をつける(つづき)

名前を表示するには



再生中にDSPLボタンを押して、名前表示に切り換える。

名前を消去するには

- 1 CDを再生し、FILEボタンを2秒以上押す。
 - 2 SELボタンを押しながら数字ボタン5を押す。
 - 3 +または-ボタンを押して消したい名前を表示させる。
 - 4 SELボタンを2秒以上押す。
- 他に消したい名前があるときは、手順3、4を繰り返す。
- 5 FILEボタンを2秒以上押す。

CDの聞きたい曲だけを聞く

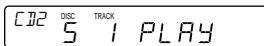
カスタムファイル対応のCD機器の場合

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(24ページ)で名前をつけたCDだけです。

聞きたくない曲をとばすように指定する

FILE

- 1 CDを再生し、FILEボタンを2秒以上押す。次にFILEボタンを短く押す。



- 2 SEEK/AMSボタンを押し、とばしたい曲の番号を表示して、SELボタンを押す。

表示が「PLAY(再生する)」から「SKIP(とばす)」に変わります。



SEL

「PLAY」に戻すときは、もう1度SELボタンを押します。

- 3 同様にして、とばす曲全部に「SKIP」を設定する。

- 4 FILEボタンを2秒以上押す

FILE

ご注意

- 「SKIP」を設定できるのは24曲目までです。
- 「SKIP」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

曲をとばしながら聞く



- 1 CDを再生し、BANKボタンを押して「BANK」を表示する。



- 2 BANKボタンを押して再生のしかたを選ぶ。

再生のしかたが切り換わります。



曲をとばしながら
再生

「SKIP(とばす)」を
設定した曲だけ再生

ふつうの再生

「PLAY」に戻すときは、手順2で「BANK-OFF」を選びます。

主な仕様

カセットプレーヤー部

トラック方式	4トラック2チャンネル (ステレオ)
ワウフッター	0.08% (WRMS) 以下
周波数特性	30~20,000Hz
再生SN比 (JIS A)	

カセット	ドルビー B NR	ドルビー NR OFF
TYPE I	64dB	58dB
TYPE II、IV	67dB	61dB

チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30~15,000Hz
SN比 50dB感度 (IHF)	15dBf
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	65dB (ステレオ)
	68dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.5% (ステレオ)
	0.3% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)
キャプチュアレシオ	2dB

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30µV
アンプ部	
音声出力端子	フロント、リア
適合インピーダンス	4~8
最大出力	40W×4 (4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
トーンコントロール	低音: ±10dB (100Hz) 高音: ±8dB (10kHz)
出力端子	リア用ライン出力端子、 フロント用ライン出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子 ATT入力端子
本体寸法	約178×50×176mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×156mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売品	CDチェンジャーCDX-715, CDX-T602 CDプレーヤーCSX-310 MDチェンジャーMDX-62 ロータリーマンダーRM-X4S バスケーブル(RCAピンコード 付き) RC-61(1m) RC-62(2m) RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m) ソースセレクターXA-C30 クリーニングカセット CHK-1W、C-1KW

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。